

(別添5)

事業所名 グループホームふく福

2 目標達成計画

作成日: 平成 26 年 5 月 21 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	相談窓口の設置や第三者委員会の利用者への聴き取りは行っている。しかし、職員や家族同士で意見や思いを話し合う場を設けておらず、家族の意見や要望を引き出す工夫がまだ十分でない。	利用者や家族が意見や要望を自由に話せる場を設け、施設の運営やサービスの質の向上につなげる。	・年1回家族会を開き、意見や思いを話し合う場を設ける。 ・運営推進会議に(代表だけでなく)家族の方の参加をしていただく。	6ヶ月
2	13	防災に対する設備の充実や避難訓練の実施はできているが、地域住民や消防団の避難訓練への参加はまだできていない。	緊急時や災害時、利用者が速やかに避難できるよう、日頃より地域との協力体制を築く。	・自治会長・消防団長・民生委員の方に施設の見学をしてもらう。また、施設を図面で説明する。 ・避難訓練の様子を見てもらう。	3ヶ月
3	5	センサーマットを使用している利用者が複数いる。	センサーマットの使用を減らす。	・センサーマットの使用について定期的に職員で会議を持つ。一人ひとりの状態を見直し、センサーマットに変わるものがないか考える。	6ヶ月
4	5	施設の門扉が頑丈で重々しい。また、施錠はしていないが、門扉のレバーが固く入りにくい。入口を示す看板も分かりにくい。	地域の方をはじめ、だれもが気軽に立ち寄れる施設にする。	・門扉の横にだれもが気軽に立ち寄れるような看板を設置する。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。